

社会福祉基礎「グループに対するソーシャルワーク」

令和5年6月9日

今回は、ソーシャルワークの一つである「グループワーク」を紹介しました。

「グループワーク」は、集団活動を通して一人ひとりが成長できるよう支援する手法の一つです。前日に行われた体育祭を事例に、最高学年として自分たちが各団をどのようにまとめていったのか、そのプロセスを検討しました。

自分たちのグループ経験を、理論的な枠組みに当てはめていきます。

その結果、各団の特徴や、やる気、団結力を高めるための工夫やコミュニケーション方法、キー概念など、グループの成長のために必要な要素が見えてきました。

3年生にとっては最後の体育祭。ディスカッションでは、体育祭への熱い思いや、心温まるエピソードがたくさん語られました！



	青	赤	黄
準備期 波長合わせ	〈体育〉 青春の後ろに 勢いがある 幹部が強い 盛り上げたい 外強を	〈音楽〉 友に対して 元気で仲良く 盛り上げ上手 意見の相違も 団結力 信頼の	〈吹奏〉 見てくれる 場を作って 関わり合い 定期練習会
開始期 雰囲気づくり	幹部が盛り上げ上手 準備が早い 明るい人が 1/2までが 多い 伝承	アトラクのおわり 1/2以上ある 腹は言い方 誰かがいい リーダーがわかる人 〈3年間メンバーが変わらない〉	あかさん 伝承 1年 甘がすぎない 2年と3年出た下の層に 3年 勝ちに入ってくる 練習が解はいて
作業期 われわれ感情	アトラクの前は 幹部等号に みんなも見えてくる 伝承 名前を覚えてくる	報告の別風試合 練習に参加できない やる気の個人差 楽しい印象 コミュニケーション フォントに接する	アトラク練習 全力で楽し 形に 誤解が生じるとは あかさん 伝承
終結期 分かち合い	渡本にいらはがの欠席率低い 遅刻してても来る → 思い出たから 案いかなん事と 幹部に伝えてくれる 別のクラスや学年の子と仲良くくれた		テーマの感謝に 浴び体育祭にて



校長先生が見学にみえました。